


## 非常誘導灯点検棒

## 取扱説明書

このたびは、デンサン「非常誘導灯点検棒」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり指示に従って正しく使用してください。  
お読みになった取扱説明書はお使いになる方がいつでも見れる所に保管してください。

### 安全上の注意

<b>⚠ 危険</b>	この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う危険性が非常に差し迫って生じる可能性がある」内容を示します	 感電
	● 高圧電線が近くにある場所での使用はお止めください。感電や重大な事故の原因になる恐れがあります。	
<b>⚠ 警告</b>	この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します	
	● 不意の落下物等で目を怪我する恐れがあります。作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。 ● ポールは垂直に立てて使用し、伸ばした状態で横倒しにしないでください。	
<b>⚠ 注意</b>	この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します	
	● ご使用前に部品のゆれみがないか、破損箇所はないか等の始業前点検をして安全確認後にご使用ください。 ● 必要以上に締めすぎるとロック機構を破損する恐れがありますので注意してください。 ● 継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなります。 ● 継手は少し緩めるだけにして、スライド抵抗のある状態でポールを押し下げてください。継手を緩め過ぎるとスライドが開放状態になり急激に落下して指をつめるなど傷害の恐れがあります。 ● ポール伸長時は転倒による破損防止のため、取扱いには十分ご注意ください。 ● 清掃時は軽く湿った布巾で拭いてください。絶対にシンナーなどの溶剤を使用しないでください。溶剤による界面破壊を誘発しますので注意してください。 ● シンナーなどの溶剤雰囲気中に長期保存しないでください。同様の界面破壊の危険性があります。 ● 点検ヒモや点検ボタンを強く操作しないでください。ポールや非常灯、誘導灯の破損の原因となります。	

### 使用上の注意

● 消防設備の定期点検業務はその法令が定める有資格者が行ってください。 ・ 誘導灯(消防法及び関連法令) ・ 非常灯(建築基準法及び関連法令)
● 点検される非常灯や誘導灯の取扱説明書も併せてお読みになり、指示に従って正しく使用してください。
● スイッチ操作できない構造の器具など、点検出来ない場合があります。
● 使用場所によってポールが長すぎて余る場合は必要な段数だけを使用してください。
● 気温が-10℃以下の環境では使用しないでください。
● 保管に際しては直射日光のあたる場所や高温の場所を避けてください。

### 特長

- 脚立や踏み台を使わずに非常灯、誘導灯の点検スイッチの操作が出来る
- 引きひも式、押しボタン式に対応
- アルミ製ポールで軽く、操作しやすい

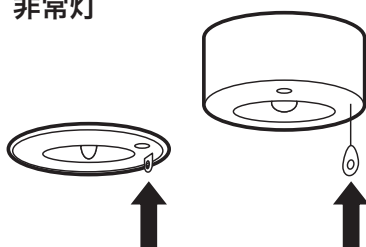
### 使用制限

この製品は誘導灯、非常灯の点検ボタン操作用です。それ以外の用途に使用しないでください。

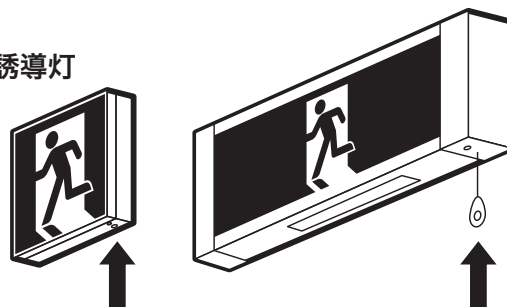
使用できる器具の代表例

- 引きひも式点検スイッチ(自動復帰型)の非常灯、誘導灯
- 押しボタン式点検スイッチ(自動復帰型)の非常灯、誘導灯

非常灯



誘導灯



⚠ スイッチ操作できない構造の器具など、点検出来ない場合があります。  
詳しくは、点検される非常灯や誘導灯の取扱説明書も併せてお読みになり、指示に従って正しく使用してください。

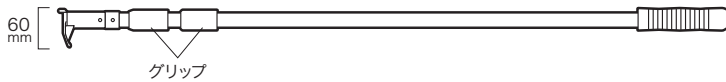
# 使用方法

⚠ ご使用前に 不意の落下物等で怪我をする恐れがあります。作業中はヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。

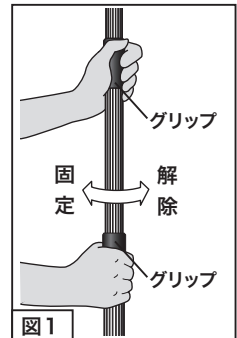
## 1. ポールの伸縮

### ● DLC-HTB180 (1.8mタイプ) のポールの伸縮

・全長(伸)：約 1.8m ・全長(縮)：約 0.8m ・段数：3段 ・最大径：φ30mm ・質量：0.3kg

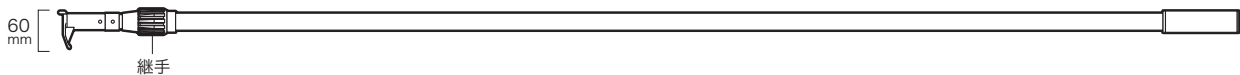


- ① ポール自体をまわすことで固定(左方向)と解除(右方向)が簡単にできます。(図1参照)
- ② グリップを握り、解除 → ポールの伸縮 → 固定の順番で長さを調整します。  
※注意：必要以上に締めすぎるとロック機構を破損する恐れがありますので注意してください。



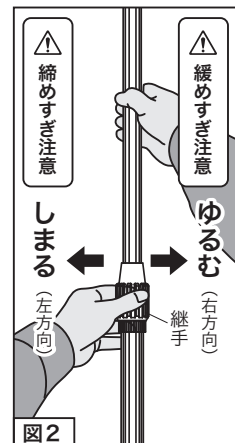
### ● DLC-HTB330 (3.3mタイプ) のポールの伸縮

・全長(伸)：約 3.3m ・全長(縮)：約 1.9m ・段数：2段 ・最大径：φ40mm ・質量：0.7kg

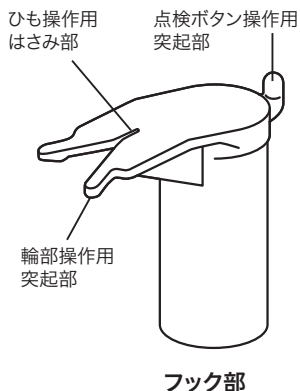


- ① 継手をまわすことで固定と解除が簡単にできます。(図2参照)
- ② 伸縮は継手をまわし、ポールを解除、固定しておこないます。
- ③ 緩める時は継手の上側のポールを持ってください。
- ④ ポールの長さに余裕がある時は、各ポールの途中で固定してください。  
ポールを伸ばし切らない方が、安定した操作ができます。
- ⑤ 縮める際は、手元のポールから収納します。

- ⚠ ポールを立てた状態で継手を緩めすぎると、開放状態になり上側のポールが急激に落下して、指をつめるなど傷害の恐れがあります。
- ⚠ スライド方向への過度な荷重は絶対にかけないでください。少し強い目に締めた時のスライド方向へのロック強度の限界は約 15kgf(約 147N)です。
- ⚠ 継手部分は指先で軽く締めるだけでロックできます。あまり強く締めると戻しトルクが大きくなり緩まなくなったり、継手の破損の原因となります。



## 2. 非常灯、誘導灯の点検スイッチの操作

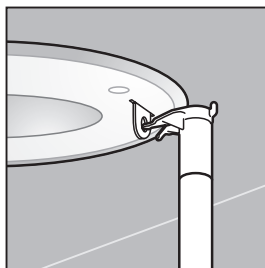


### 点検スイッチ ヒモ部



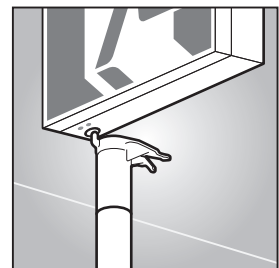
ヒモ部を挟んで引張ります。  
ヒモの先に付いた樹脂部(平板形状)がどの方向に向いても操作可能

### 点検スイッチ 先端輪部



樹脂製輪部を引張る操作が可能  
突起部を輪の中に入れて操作します。  
先端に厚みを持たせているので  
抜けにくくなっています。

### 点検ボタン



点検ボタンを押す操作が可能  
突起部を点検ボタンの位置に合わせ、  
押し上げて確認します。